

# 環境教育「まず、今できることから」

## 歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会  
 編集者：代表幹事 高橋賢一  
 連絡先：市民活動支援センター  
 尾張旭市波川町三丁目5番地7  
 (波川福祉センター内)  
 TEL0561-51-2878

### 指定第7号

### 良福寺山門

### 文化財を守る活動

萬安山良福寺は臨済宗妙心寺派の末寺です。創建は久安年間(1174-1181)とも治承年間(1171-1180)とも伝えられています。天正(1573-1582)のころには織田信長や信長の次男織田信雄から保護を受けていました。豊臣秀吉の検地や小牧長久手の戦い(1604)の兵火によって荒廃します。その後、彼らに荒れにまみれていたが、豊臣秀吉の検地や小牧長久手の戦い(1604)後寛永八年(1631)尾張藩(幕府)初代藩主徳川義直の命によって中興され、今に至っています。



良福寺山門で撮る。

この門は見付狂や冠木などがこの規模のものにしては太いことや、ほぞ穴が不自然な位置にあることから、軟用材を使用していることが推察されます。寺伝によれば、この山門は中興の折に清洲城の城門ひとつを譲り受けたとされています。なお、昭和51年には門扉金具、釘隠しなどの修理が行われ、平成11年には地盤及び袖塀を含む山門の全解体保存修理を行なう。

### 良福寺山門

員数一棟  
 種別有形文化財(建造物)

指定年月日 昭和61年2月10日  
 所在の場所 印場元町二丁目十五番地十九  
 良福寺三輪住職の解説を聞く  
 参加者の人達

切妻造り  
 構造 築地門、一間二戸本瓦葺

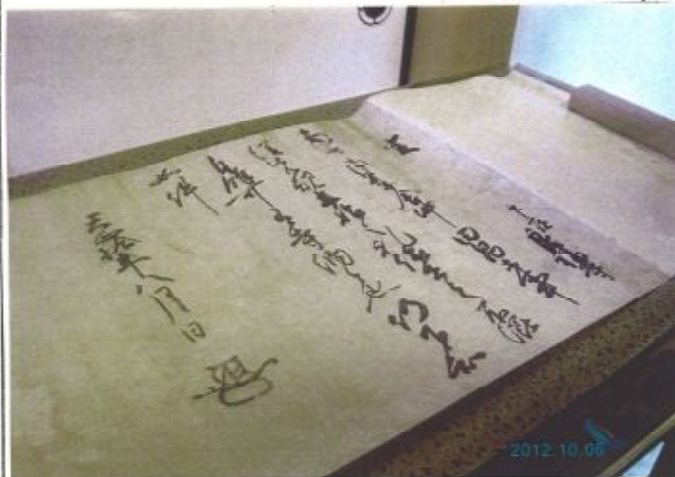
### 指定第8号

### 織田信雄書状

有形文化財(古文書)  
 この書状は織田信長の後、信長の次男織田信雄が尾張を支配したときのものです。当時戦火を荒廃していた良福寺を再興する旨、天正十年(1582)信雄から寺領を賜ったことをあらわしている。



品質及び形状  
 紙本墨書  
 寸法  
 縦36cm 横50cm  
 所有者  
 良福寺。



織田信雄書状